

目標達成計画

作成日: 平成 30 年 5 月 28 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	身体拘束をしないケアに努めており、全職員を対象に年度初めのオリエンテーションや勉強会の中で学ぶ機会を設けているがベット柵の使用について曖昧に理解しているところがある。	身体拘束の定義を職員個人が理解し、日頃のケアで実践する。	・身体拘束について学び理解を深める。 ・定期的に自己チェックを行いケアを振返る。 ・身体拘束を行う場合の指針を作成し共有する。	12ヶ月
2	33 (14)	昨年、看取り体制の整備を課題に挙げた取り組みを行ったが関連医療機関、訪問事業所との役割分担や協力体制について理解が得られなかった。	入居者が重度化した場合や終末期の在り方について事業所としての方針を定める。	・事業所の方針を定め共有する。 ・看取り指針の作成。 ・同じ方向性を持った事業所探しと連携。	12ヶ月
3	30 (13)	日頃のケアではかかりつけ医との関係性を築き、必要に応じて適切な医療が受けられるように努めている。訪問診療を受ける利用者也増えており医療機関との連携体制を強化したい。	医療機関との連携体制を整え、救急搬送をOにする。	・緊急時の対応ツールの見直しと定期的な訓練。	12ヶ月
4	35 (15)	年2回の防災訓練とは別に災害避難訓練(台風、地震)を地域住民と共に実施できたが、夜間の訓練では職員のみ実施しているため地域住民と一緒に行いたい。	夜間を想定した避難訓練を地域住民と一緒に行う。	・他事業所の取り組みについて情報収集 ・自事業所に合った訓練に向けての計画 ・自治会や地域住民への合同訓練の協力依頼。	12ヶ月
5	2	初めて地域住民を交え勉強会を企画し好評でした。年間行事企画に組み込み定期的に地域住民が足を運べる機会を設けたい。また、市内の小中学校へボランティアを依頼し学生たちとの交流の機会も設けたい。	年3回は地域住民が足を運べる機会を設ける。	・地域住民を含んだイベントや勉強会の開催。 ・地域ボランティアの依頼。 ・避難訓練の実施。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。